

第22回独立行政法人農林漁業信用基金農業信用保険業務運営委員会 議事概要

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和8年2月27日(金) 15時22分～16時48分
- (2) 場所 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階
独立行政法人農林漁業信用基金 大会議室

2 出席者

- (1) 運営委員(出資者・学識経験者別 五十音順)
出資者:尾崎委員、笹本委員、西川委員、松元委員、山本委員
学識経験者:梶岡委員、佐野委員、田村委員、中谷委員
- (2) 信用基金
牧元理事長、平山副理事長、平岡総括理事、山崎理事
- (3) オブザーバー
農林水産省経営局金融調整課 永井課長補佐
財務省大臣官房政策金融課 手嶋課長補佐

3 提出議案

- (1) 審議事項
 - ① 独立行政法人農林漁業信用基金の農業信用保険業務、林業信用保証業務及び漁業信用保険業務に関する業務方法書の変更(案)について
 - ② 令和8年度年度計画(案)について
- (2) 報告事項
 - ① 農業信用保険料率算定委員会の結果について
 - ② 農業信用保険業務運営の検証委員会の結果について
 - ③ 農業信用保険業務の概況分析
- (3) 情報提供事項
委員からの情報提供
- (4) その他

4 委員長の選出等

議事に入る前に、運営委員の互選により中谷委員が委員長に選出され、委員長が松元委員を委員長代理として指名した。

5 議事経過の概要及びその結果

引き続き議事に入り、上記3(1)の議案について信用基金から説明がなされた後、審議が行われ、原案どおり承認された。

また、信用基金から上記3(2)に沿って報告がなされ、その後、農業法人を営む3委員から直近の現場の状況等について情報提供がなされた。運営委員からの主な発言等は以下のとおり。

【質問・意見等】

- (1) 審議事項
 - ① 独立行政法人農林漁業信用基金の農業信用保険業務、林業信用保証業務及び漁業信用保険業務に関する業務方法書の変更(案)について

- (質疑なし)
- ② 令和8年度年度計画(案)について
(質疑なし)

(2) 報告事項

- ① 農業信用保険料率算定委員会の結果について
(質疑なし)
- ② 農業信用保険業務運営の検証委員会の結果について
(質疑なし)
- ③ 農業信用保険業務の概況分析
(質疑なし)

(3) 情報提供事項

- 預託牛肥育から繁殖肥育一貫に切り替えた、いわば後発組であるため、生き残っていくために、最終的に自分で1頭毎に販売するところが普通の畜産農家と違うところであり、飼料についても酒ぬかなどの発酵飼料を給餌することで牛の胃腸から健康にしている。
- 基盤整備が行き届き、暗渠排水も全て整備された汎用水田を生かし、水田の後作に期間借地という形で年三毛作を行いながら様々な野菜を栽培している。100枚近くの水田を管理するとともに、JGAP認証などについても管理する必要があるので、タブレットによる作業手順管理を実施している。
- 20年前に集落営農から法人化したときから、選ばれるためにどうするかと考え、まずは特別栽培米から始め、現在では無農薬米も栽培している。また、フランスへ玄米で輸出しているが、品質の確保に苦労した。スマート農業などの新しい技術の導入は、基盤整備の状況に合わせて行うことが肝要。

以上